

# 玉村町 文化財通信

2022年11月8日発行

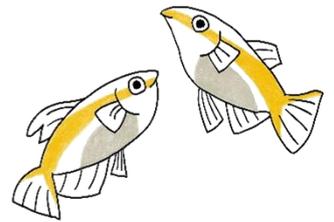
(次号12月発行予定)



## 玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.6



先月号 Vol.5 の酒樽に入っていたのは「メダカ」でした。昔語りで語られているように、かつて日本では、ごく普通にメダカの群れが見られました。しかし、1980年代あたりから野生のメダカを見ることが難しくなりました。現在では、絶滅危惧種に指定されています。工場排水や農業排水、家庭排水による環境の悪化や、護岸工事や水路の整備などによる天然河川の破壊、外来種による影響が挙げられています。『五料の昔語り』からは、当時の船頭気質だけでなく、かつての人と自然の共生の様子も知ることができます。



今月紹介する動物は、現在資料館で展示している、飯倉生まれの塩澤蘭香氏によって描かれた、長寿の象徴とされる動物2種と神の使いとされる動物です。蘭香氏は、幕末元治元年(1864)に生まれ、昭和4年に65年の生涯を終えました。青年期に画道を志し、脇屋金嶺の門に入り、南宋(宗)派を学び、山水画を中心に活躍しました。平成12年夏、古くなった慈恩寺本堂(飯倉317-1)の解体作業をしている際に、奥の書院ふすまに蘭香

氏の描いた作品が見つかりました。それをきっかけに、飯倉の方々を中心に、様々な作品と情報が集まり、平成14年に飯倉公民館で「没後74年回顧展」が開かれました。そして今回、当館で特別展「塩澤蘭香」を開催し、この地に生まれた優れた文化人を多くの方々を知ってもらい、更なる情報が得られたらと思っています。



### イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください!

資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆彡

### お祭り・郷土芸能の危機

お祭りや郷土芸能は、もともとは田や水の神様に奉納するなど、恐れ敬い、その土地で無事に暮らしていくために行われました。昨今の後継者不足や資金不足に、コロナ禍が加わり、中止あるいは簡略化となり(感染対策を行いながら、つづけているところもある)、依然として先の見えにくい状況がつづいています。これは何も玉村町に限ったことではなく、全国的な問題になっています。疫病退散を願う郷土芸能も、コロナ禍には勝てません。しかし、お祭りは地域の景観を形成する大事なものでもあります。コロナ禍が過ぎ去った後も、無事復活して継承されていくことを願うばかりです。

### 重田家住宅

～公開・活用に向けて⑦～

先月は群馬TVの番組に生出演させていただきました。あれが現時点における精一杯でしたが、ご覧になった方はいらっしゃいますか? さて、今月の重田家住宅ですが、9(水)～12(土)までの「水彩画展」と、26(土)の「着物を楽しむ撮影会」の催事2本立てを予定しています。着物の着付体験会は先着15名で、10/25から受付開始しております。ご興味のある方は至急お問い合わせください。

(重田家住宅管理担当者)

公開情報: 平日の水・木・金曜日及び、催事開催日の10時～16時(通常16時迄に退去)

# 文化財・歴史資料館 情報

## 国登録有形文化財「重田家住宅」 アート展と光の庭

日時：12月3日（土）午後1時～8時（アート展） ・4日（日）午前10時～午後3時（アート展）

ライトアップは、両日午後4時30分～8時

※4日（日）重田家住宅落語会 出演：萩原亭身長 午後6時～7時 ショウダンノマにて

内容：群馬県立女子大学の高橋ゼミ生と山崎ゼミ生によるアート展と、樹木名プレート設置のワークショップ（3日のみ）を行います。夜は「光の庭」と題した重田家住宅のライトアップを行い、お庭を幻想的な雰囲気彩ります。

\*樹木名プレート設置ワークショップ\* 3日（土）午後1時30分～3時30分 \*先着100名

開催時間中に、建物裏側のあずま屋へ直接お越しください。

場所：重田家住宅（玉村町小泉42）

入場無料

協力：群馬県立女子大学高橋ゼミ・山崎ゼミ・玉村造園協会・玉村町住民活動サポートセンターぱる

※駐車場は重田家住宅南側に約20台あります。

※新型コロナウイルスによる感染症の動向によっては、上記事項に変更や事業を延期または中止する可能性があります。ご理解とご了承のほど、よろしくお願いいたします。



## 玉村町歴史資料館特別展 「塩澤蘭香－飯倉生まれの南画家－」

特別展  
絶賛開催中です！



### ★関連行事のお知らせ★

#### ① 記念講演会

日時：令和4年11月27日（日）午後1時30分～午後3時

演題：「群馬の南画家たち」

講師：太田 佳鈴氏

（群馬県立近代美術館 学芸員）

会場：玉村町文化センター小ホール

定員：100名（先着順）申込は10月27日（木）よりTELまたは歴史資料館カウンターにて受付

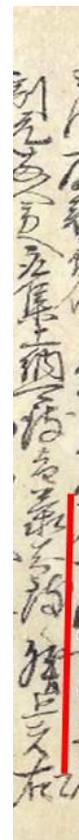
#### ② ギャラリートーク

11月26日（土）午前11時～11時30分

入館無料、関連行事①、②とも参加費無料です。

## 古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第七回目はこの文章を読んでいきましょう。



書き下し文…承知致候、然ル上者、  
読み方…しようちいたしそろう、しかるうえは、  
現代語訳…聞き入れました。そういうことであるからには、

（次号へ続く）

○玉村町誌別巻②（三右衛門日記一）～別巻④（三右衛門日記五）  
歴史資料館にて好評発売中！

### ☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館（電話）0270-30-6180  
〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

